

地域医療連携室だより

～ 第 10号 ～

大阪市立十三市民病院

地域医療連携室 室長 挨拶

今年は報道でも「スーパー猛暑」と言われ、7月から35℃を越す日が続いてありますが、貴院におかれましては益々御盛栄のこととお喜び申し上げます。

さて、前号に掲載した今年度の取り組みの進捗状況を報告いたします。

- ① 5月8日より、(土)(日)(祝)以外に(月)(金)の内科二次救急を開始し、5月、6月の救急車搬送件数は平均85件/月となっており、当院の目標である1000件/年は達成可能と思われます。しかし、まだ2ヶ月を経過したばかりですので、今まで以上に利用していただけるよう励んでいきたいと考えています。
- ② 7月3日より、三国地区において無料患者送迎バスの運行を開始いたしました。利用者も少しずつ増加しておりますが、地域の先生方からの紹介患者さんの受診にも利用していただければ幸いです。これを契機として、地域医療支援病院の基準である50%以上の紹介率を達成したいと考えています。もちろん、三国地区での運行が軌道に乗れば、他の地区での送迎バス運行も視野に入れていきます。
- ③ ハイケアユニット(HCU)の運用は9月からを予定しています。



地域医療連携室長 倉井 修 副院長

今年度は広報活動にも重点をおき、以前より行っていた淀川区医師会との共催である「十三臨床談話会」に加えて、淀川区医師会後援の「十三トピックセミナー」の開催、各診療科毎の地域連携会の開催、当院で経験した救急症例のオープンカンファレンス等を計画しております。是非、ご参加・ご利用ください。直近予定は以下の通りです(開催場所は共に当院9F すかいルーム)。

◆8月23日(水)18時～ 第1回救急オープンカンファレンス

テーマ「解離性大動脈瘤」

◆8月31日(木)18時30分～ 第2回十三トピックセミナー

テーマ「明日から使える漢方薬」

また、秋には消化器内科主催の市民公開講座も開催予定です。

今回の「地域医療連携だより」では、外科、MEセンター、視能訓練士および糖尿病看護認定看護師の紹介および活動状況を掲載させていただきます。

地域医療連携室では、受入れ支援、退院支援、患者さん支援も従来同様の活動をしておりますので、ご要望やご質問があれば地域医療連携室までお寄せ頂ければ幸いです。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



外科の紹介

いつも大阪市立十三市民病院外科に多くの患者さんを紹介していただき誠にありがとうございます。昨年度の紹介率は68.3%で、当科は地域医療機関の先生方に支えられていることを実感しております。

現在我々は、常勤医4人とレジデント2人で診療を行っています。今春から3名が交代となり、リフレッシュした体制になっています。以前より一般外科・消化器外科を中心に診療をしていますが、平成27年度から下肢静脈瘤の治療も開始しています。また、平日の20時までと土曜日の13時まで、地域医療機関の先生方からの外科的な治療が必要な患者さんの紹介を受け入れる体制を敷いています。

当科では患者さんに優しい、低侵襲性の手術を積極的に導入し、入院期間の短縮を心がけています。昨年度は全身麻酔下手術317件のうち、190件(59.9%)に腹腔鏡下手術を行いました。日本内視鏡外科学会技術認定取得者2名が指導に当たり、高難度手術も多く施行しています。悪性疾患では早期胃癌と閉塞や浸潤のない大腸癌に対して適応を考慮して行っています。良性疾患では胆嚢結石、虫垂炎、鼠径ヘルニアに対して、より低侵襲で整容的に優れる、臍の創だけで行う単孔式腹腔鏡下手術を取り入れています。単孔式腹腔鏡下手術では、臍の中に創が隠れるため、術後の創痕がほとんどわからなくなります。

また、内痔核に対する硬化療法であるALTA療法を行っています。従来の痔核を切り取る手術ではなく、ALTA(ジオン)という薬剤を痔核に注射して痔を固める方法です。脱出や出血する内痔核が対象となります。局所麻酔で行いますので、高齢の患者さんや抗血栓薬を服用中の患者さんに対しても安全に施行できます。

乳癌に対してはガイドラインに基づいて治療を行い、手術中のセンチネルリンパ節生検によって、リンパ節郭清を省略しています。術前・術後の薬物療法も当科で担当しています。放射線療法は市立総合医療センターや近隣の病院と連携して行っています。

最後に、大阪市立十三市民病院外科は、地域医療機関の先生方が安心して日常診療をしていただけるように、常に待機しております。何かお困りの症例がございましたら、地域医療連携室を通じてご相談いただければ、迅速に対応いたします。これからも、皆様のお役に立てるように努力していく所存です。

平成28年度のおもな手術件数

術式	症例数
胃癌手術	28件
大腸癌手術	38件
肝・膵切除術	31件
乳腺疾患手術	13件
胆嚢摘出術	55件
虫垂切除術	30件
ヘルニア手術	82件
痔・肛門手術	29件
下肢静脈瘤	11件
全手術件数	444件



単孔式腹腔鏡下手術の創

認定看護師の活動紹介

～糖尿病看護～

糖尿病看護認定看護師 森脇 恵美子

はじめまして、糖尿病看護認定看護師の森脇恵美子と申します。昨年、「地域連携会」に参加し、地域医療連携機関の皆様と学びのある楽しい時間を過ごさせていただきました。

私は外来で勤務し、糖尿病患者様の生活を支援する「療養指導外来」や足病変を防ぐ目的で「フットケア外来」を行っております。今回は、「フットケア外来」についてご紹介させていただきたいと思っております。「フットケア外来」では、糖尿病患者様のタコやうおの目の処置、視力障害や肥厚爪や巻き爪があり、自分で爪きりのできない方の爪の処置や角質のケアなどを行い、自宅でのケア方法を指導させていただいております。

爪が肥厚していた患者様



爪切りでは切れないような肥厚爪をニッパーで切り、グライダーで整えました。



毎週月・火・水曜日の午後から、医師と外来や病棟の専門的知識を持った看護師が行っております。予約制になりますので、ご希望の場合は、地域医療連携室(TEL:06-6150-8067)にご連絡ください。今後も、地域の皆様と交流を深めさせていただきたいと考えております。糖尿病患者様のことでお困りのことがあればお声かけいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

MEセンターのご案内

～臨床工学技士の紹介～

臨床工学技士 福井 威夫

<特色>

医療機器の専門医療職として、医師・看護師や各種の医療技術者とチームを組んで生命維持装置の操作や医療機器がいつでも安心して使用できるように保守・点検を行っています。医療機器の安全性確保と有効性の維持に努めています。

<主な業務>

スタッフは2名で所属は麻酔科に属しています。

私たちの業務は、医療機器管理業務・呼吸治療業務・心血管カテーテル業務・手術室業務・血液浄化業務を行っています。

<医療機器管理業務>

昨年度から医療機器の一元管理をしており、地下SPDの中にMEセンター分室を設置し、医療機器の貸し出しを行っています。



<各種認定・資格>

- 体外循環技術認定士
- サーボ i 保守点検資格
- メラサキューム保守点検資格
- 呼吸療法認定士
- FCGS インストラクター
- フットポンプ保守点検資格
- TOP/テルモのシリンジ・輸液ポンプ保守点検資格

視能訓練士の紹介

眼科 視能訓練士 桑原 留美子

<視能訓練士とは>

昭和 46 年に制定された「視能訓練士法」に基づく国家資格をもった医療技術者です。眼科で医師の指示のもと、視機能検査や斜視や弱視の訓練指導に携わっています。

<当院眼科での主な業務>

当院の視能訓練士は、常勤 1 名、非常勤 2 名在籍し、毎日 2 名の体制で眼科診療に係わる検査に従事しています。

視機能検査とは、視力、屈折、眼圧、視野、色覚、眼位、角膜内皮細胞撮影、眼底三次元画像解析などがあります。

午後からは、視野検査や眼鏡処方など、所要時間の長い検査を予約制で行っています。月曜日午後には斜視外来（予約制）があり、小児の斜視・弱視の検査や訓練指導などもしています。

適切な診断治療につながる視機能検査を、迅速かつ正確に進めていくために、視能訓練士として日々努めてまいります。

患者さんにとって安全安心な眼科診療が受けられるよう、他職種とも協力して取り組んでいきますので、今後とも宜しくお願いいたします。



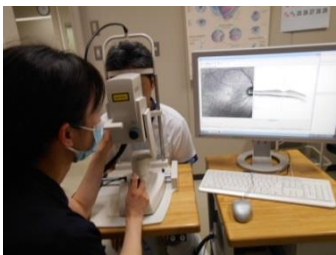
<視力検査>



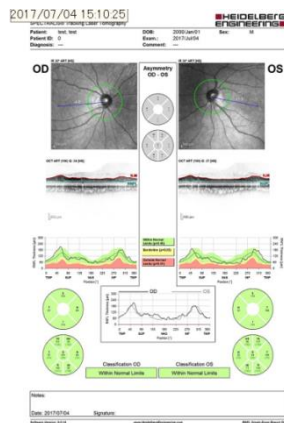
<角膜内皮細胞撮影>



<静的視野計>



<眼底三次元画像解析(OCT)>



<OCT 緑内障解析結果>



<動的視野計>

第 1 回 救急オープンカンファレンス

8 月 23 日(水) 18 時～19 時
9 階 すかいルーム

テーマ:『解離性大動脈瘤』

第 2 回十三トピックセミナー (十三地域連携カンファレンス)

8 月 31 日(木) 18 時 30 分～20 時
9 階 すかいルーム

『明日から使える漢方薬』
～知って納得、治療効果を上げるコツ～

演者: センブクリニック 院長 千福 貞博 先生

編集

大阪市立十三市民病院
地域医療連携室

〒532-0034

大阪市淀川区野中北 2-12-27
代表電話: 06-6150-8000
直通電話: 06-6150-8067
直通 FAX: 06-6150-8686